

令和5年（2023年）第1回羽村市議会定例会 一般質問通告項目一覧表

| 発言順 | 議席番号 | 議員氏名 | 質問項目 | 質問日 |
|-----|------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1人目 | 16番 | 濱中俊男 (60分) | <p>1. 「浮きこぼれ」支援について</p> <p>(1) 「浮きこぼれ」支援について、学校ではどのようなことができるか。</p> <p>(2) アメリカのような、飛び級等の制度は、有効と思うがどうか。</p> <p>2. 羽村消防署は設置できないか</p> <p>(1) 常備消防の委託について ア 東京消防庁に委託している理由は。 イ その経緯は。</p> <p>(2) 福生消防署管内の消防車、救急車の台数は。 ア 福生市は。 イ 羽村市は。 ウ 瑞穂町は。</p> <p>(3) 羽村消防署を開設するよう、東京消防庁に働きかけできないか。</p> <p>(4) 稲城市のように常備消防を運営するのは、難しいか。</p> <p>3. 加美会館の大規模改修と公共施設の維持管理について</p> <p>(1) 加美会館の空調設備等改修工事の予定と内容は。</p> <p>(2) 本改修工事の時期は、適切か。もっと早く行うべきではなかったのか。</p> <p>(3) 本改修工事を前倒して、早急に行えないか。</p> <p>(4) 羽村市公共施設等総合管理計画・羽村市公共建築物維持保全計画について ア 想定よりも速いスピードで人口減少が進んでいる。施設の整理統合が必要と思うがどうか。 イ 羽村市公共施設等総合管理計画の次回の改定はいつか。</p> | 2月28日 |
| 2人目 | 4番 | 高田和登 (60分) | <p>1. 子育てしやすいまちづくりについて</p> <p>(1) 共働き子育てしやすい街ランキングについて 日本経済新聞社と日経BPが実施した共働き子育てしやすい街ランキング2022で羽村市は全国4位（東京都では2位）の高評価を得た。 ①令和4年3月定例会で、私は「共働き子育てしやすい街」ランキングで福生市は全国5位、東京都内で首位であり、7年連続でトップ10入りをしていることを取り上げ、市の具体的施策について質問した。特に、この1年間で市はどのような施策を実施したことで高評価を得たと考えているのか。 ②今後、さらに上位、可能ならば、全国1位を目</p> | 2月28日 |

標にすべきと考える。市はそのために、どのような施策を実施する考えか。

- ③今回の高評価を若い世代の羽村市への移住につなげるためにどのような方策を考えているか。
- ④「羽村市」の知名度を高めるため、今回の高評価を全国にPRすべきと考えるが、いかがか。

(2) 市の子育て支援充実について

- ①東京都は少子化対策として、来年1月頃から18歳以下に年間6万円の支給や、第2子以降の保育料を完全無償化すると発表した。「愛情ギュッとず〜っとはむら〜東京で子育てしやすいまち〜」をブランドメッセージとしている市は、子育て支援の充実に今後どう取り組んでいくのか。
- ②京都府亀岡市は市立・私立の保育所、認定こども園、幼稚園、企業主導型保育施設の29施設で、紙と布の両方のおむつの無償提供を開始した。市独自の子育て支援策の一つとして、おむつの無償提供などの施策を検討してはいかがか。

2. 愛玩動物（ペット）について

(1) ペットの火葬について

- ①市公式サイトによると、ペットが亡くなった場合、リサイクルセンターで預かり、動物専用のお寺で火葬し、供養するとのことである。ペットの火葬の件数はどれくらいで、どのお寺でどのような形で供養されるのか。
- ②火葬する際は、飼い主は立ち会うことは可能か。

(2) 犬や猫のマイクロチップ装着について

2022年6月に動物愛護管理法が施行され、ペットとして販売される犬や猫のマイクロチップ装着が義務付けられた。横浜市では飼い主の負担軽減のため、1,500円を補助している。飼い犬や飼い猫が災害などで逸走した場合に早期に所有者を特定するためにも、マイクロチップ装着を推進し、費用の補助を行ってはいかがか。

(3) 狂犬病の特例制度の活用について

2022年6月から狂犬病予防法に基づく自治体への登録申請を免除できる特例制度が導入された。飼い主がこの特例を利用するには市の参加が条件である。26市では多くの市が参加しているが、羽村市が参加しない理由は。

3. 高齢者に優しいまちづくりについて

(1) 買い物難民への対策について

- ①現在市内には、市外のスーパーマーケットが運営する移動販売車が営業しており、市民にも人気があるようである。令和3年6月定例会で、買い物難民のための移動販売車の推進についての一般質問があり、「市として移動販売の支援の方策について具体的な検討を進めているところ

3 人目

15 番

石 居 尚 郎
(60 分)

である」との答弁であった。その後、どのように検討がなされたか。

- ②市民にとってニーズがある移動販売車の推進を目的として、移動販売車の駐車スペースの確保のために市が管理する公園の駐車場等の無償提供や、スペース確保のための情報提供などの支援をする考えはないか。
- (2) 高齢者の見守り体制について
市は、見守りが必要な高齢の方などに対するサービスとして徘徊高齢者探索サービス、救急通報システム、住宅火災通報システムを実施している。大変、手厚いサービスと考える。
- ①GPS 端末機の貸与件数、見守りシールの配布人数、ペンダント型の無線発報器の設置件数、住宅用防災機器の設置件数を問う。
- ②高齢者の見守り事業をさらに周知すべきと考えるが、いかがか。

1. 羽村の教育に明るい未来を

- (1) 幼保小の連携と架け橋プログラムについて、どこまで検討が進んでいるのか。また、来年度以降の取組みについて聞く。
- (2) 子どもの求めや願いに沿った、「体験的・総合的な学習」を学びの柱として、展開している公立の小・中学校がある。羽村市の学校教育においておおいに参考となるものとする。積極的に研究してみてもどうか。
- (3) 校則の見直しを、児童・生徒の主体的な関わり等により進めていると聞いているが、その成果を聞く。社会の変化等を踏まえた、より柔軟性あるものとなっているか。
- (4) 児童・生徒の自己肯定感や自己効力感を育むための学習評価をどう実践しているか。
- (5) 羽村市が理想とする教育像をどう描いて、未来に繋いでいこうとしているのか。

2. 羽村のまちづくりの未来について

- (1) 羽村市の「まちづくり」について
 - ①市として「まちづくり」を、羽村の将来像としてどのように描いているのか。
 - ②マンション対策について、マンション管理認定制度や固定資産税減税措置など、国や都はマンション対策に力を入れている。羽村市も積極的に進めるべきではないか。
 - ③市内にも放置されている空き家が目立っている。空き家対策について取組みを聞く。
- (2) 都市基盤整備について
 - ①イオンタウン所有地など神明台 2 丁目地区の状況に進展はあったか。

2 月 28 日

4人目

7番

富 松 崇
(50分)

- ②区画整理事業は、住民・地権者の協力無しには進めることはできない。新たな方針が示されたが、市長は施行者として、地権者に寄り添った丁寧な対応を、今こそ求められるのではないか。
- ③羽村大橋拡幅工事について資材搬入経路を建設するための都の予算案が示されたと聞いている。羽村市として早期工事に向けて、さらに連携強化を図るべきではないか。
- ④水道事業について、東京都水道事業との一元化について市の考えを聞く。
- ⑤下水道事業について、東京都は、「TOKYO強靱化プロジェクトに資する市町村下水道事業への支援への充実について」を本年1月に発表した。これに対する羽村市の取り組みについて聞く。

2月28日

1. 教育行政のデジタル化について

(1) 学校のデジタル化・クラウド化について

- ①文部科学省は教職員による学校・学級運営に必要な情報や児童・生徒の状況の一元管理・共有を可能とする「統合型校務支援システム」について、令和4年度の100%整備を目指しているが羽村市の導入状況について伺う。
- ②統合型校務支援システムの目的と効果は。
- ③クラウド化についての状況と課題は。

(2) はばたきファイルについて

- ①はばたきファイルの目的は。
- ②はばたきファイルの配布対象と配布方法は。
- ③「保護者と様々な機関が連携・協力して支援できるように」とあるが、どのような機関のことなのか。
- ④支援機関間の情報共有・連携はどのように図られているのか。
- ⑤はばたきファイルをデジタル化して、保護者と複数の支援機関で情報共有することで複数の機関それぞれでの手続きややりとりが省略でき、利便性が向上すると考えるが、いかがか。

(3) 手続きのオンライン化について

- ①保護者からの各種手続きでオンライン化している手続きはどのようなものがあるか。
- ②今後、オンライン化する手続きはあるか。

2. コミュニティバス「はむらん」の広域連携について

- (1)現在の運行コースは「羽村東コース」「羽村西コース」「小作コース」「羽村中央コース」となっている。コースの変更や延伸の検討はされているのか伺う。
- (2)近隣自治体のコミュニティバス運行状況は。
- (3)コミュニティバスが近隣自治体への乗り入れや

5 人目

2 番

秋 山 義 徳
(60 分)

相互乗り入れを行うことで、交流人口の増加や利用市民の利便性の向上、市内経済・西多摩全体の経済活性化にもつながると考える。羽村駅・小作駅・河辺駅・福生駅・箱根ヶ崎駅などを結節点として広域連携を図ることについて市の考えを伺う。

2 月 28 日

1. 災害への万全な備えのための訓練について

(1) 令和 4 年度羽村市総合防災訓練について

- ①規模を縮小し、市民にはそれぞれ自宅での訓練を推奨し、職員や関係者は、図上訓練を行ったとのことだが、訓練はどのように行われたのか。
- ②今回の図上訓練でどのようなことが確認されたのか。
- ③今後の訓練は、災害協定を結んだ団体を含め、現実を想定したものに近づけるべきと考えるがいかがか。
- ④将来的には、今後作成される個別避難計画を踏まえた訓練を検討すべきと考えるがいかがか。

(2) 「福生病院緊急医療救護所設置訓練」について

- ①羽村市の職員も参加しての開催であったが、どのようなものであったと報告を受けているか。また、参加者からはどのような感想が上がっているか聞いているか。
- ②令和 4 年 11 月 5 日に行われた訓練について、幹事市であった福生市や公立福生病院と情報共有は行ったか。
- ③次回の福生病院緊急医療救護所設置訓練は、羽村市が幹事市となるようだが、幹事市の役割とはどのようなもので、どのように開催する考えか。

2. 今後の羽村駅西口土地区画整理事業について

(1) 検証会議の提言を受けて区画整理をどのように進めていく考えか。

- ①提示された「羽村駅西口地区の都市基盤整備に関する基本方針」では、土地区画整理事業をベースに都市計画道路 3・4・12 号線の早期整備と羽村駅前整備を優先的に行う方針を挙げているがどのように進めていくのか。
- ②3・4・12 号線整備と羽村大橋拡幅工事について東京都との協議の状況は。
- ③基本方針により事業完了時期はどうなるのか。
- ④土地区画整理事業以外の整備手法の検討とあるがどのように検討していく考えか。
- ⑤基本方針の優先的実施地区以外の整備は、どのように進めていく考えか。

3. 歩行者・自転車の交通安全について

(1) 福生警察署ホームページによると、管内の状態

6 人目

11 番

大塚 あかね
(60 分)

別交通事故死傷者数の累計は、2022 年が、四輪乗車中 263 人、二輪乗車中 62 人、自転車乗車中 133 人、歩行中 86 人、その他 1 人。2021 年が、四輪乗車中 221 人、二輪乗車中 72 人、自転車乗車中 106 人、歩行中 77 人、その他 0 人であり、自転車と歩行者の事故も多いことがわかる。これまで羽村市は、自転車・歩行者への交通安全について、どのような対策を行ってきたか。また、効果はどうだったのか。

- (2) 自転車と歩行者の事故を防ぐためにも走行帯の区分は有効であると考えるが、自転車通行帯の市内道路の設置状況はどうか。
- (3) 歩道に自転車や電動カート、今後は電動キックボードが通行すると危険な状況が想定される。羽村市として、今後の歩行者と自転車などの安全対策をどのように考えているか。
- (4) 令和 5 年 4 月 1 日に自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化されるが、どのような対策を行う考えか。
- (5) 市役所通りは、歩道が街路樹の根で荒れていて、歩行者や自転車の往来を妨げることもある。市役所通りの整備計画の策定が令和 4 年度実施計画に上がっていたが、令和 5 年度以降の市役所通りの整備はどのように進めていくのか。

1. 市民により優しく、環境にも優しい市民サービスを求める

- (1) 市役所で印鑑登録証明書を取得しやすくすべきではないか。
 - ① 印鑑登録証明書を市役所窓口で取得するときに、印鑑登録証(カード)または、はむら市民カード(印鑑を登録してあるもの)がないと取得できない理由はなぜか。
 - ② マルチコピー機のあるコンビニエンスストアではマイナンバーカードで印鑑登録証明書を取得できる。市役所窓口でも、マイナンバーカードで取得できるようにしてはどうか。
 - ③ 市役所にマルチコピー機を設置してはどうか。
- (2) ウォームシェア、クールシェアスポットを市役所内(例えば 1 階フロア)に設けてはどうか。
- (3) プラスチック削減の一環として、スーパーや小売店で有料化されているレジ袋を事業者と提携し、可燃ごみ袋としても使える袋に変えてはどうか。
- (4) 給水スポットを設置すべきではないか。
 - ① 給水スポットの設置について後ろ向きなのはなぜなのか。
 - ② 多摩市や東村山市のように企業との提携により、財政負担なく設置できるのではないか。

3 月 1 日

- ③再三になるが、はむらの水の美味しさ、安全性をPRする観点からも市民サービスの一環として、給水スポットを設置すべきではないか。

2. 少子化対策について問う

- (1)子どもを安心して「産む」ことができるまちにしていくことが大事と考えるが、出生数を増やす取組みについて伺う。
- (2)子育てが終わったあとも羽村市に住み続けていただくことが重要である。定住者を増やす取組みについて伺う。
- ①子育て支援認定住宅についての取組みを伺う。
- ②「子育て応援とうきょうパスポート事業」への市内協賛店を増やす取組みはどのような状況なのか。
- ③その他の取組みは。
- (3)「共働き子育てしやすい街 第4位」を活かし、より「子育てしやすい街」になるために、今後の市の考えを伺う。

3. 羽村市の農業を市はどのように支えていくのか

- (1)農地の減少が止まらないが、何か手立てを考えているのか。
- (2)農業後継者を増やす取組みについて策を講じる必要があるのではないか。
- (3)根がらみ前水田を保全していくために、農業振興地域に指定してはどうか。
- (4)今後、羽村市の農業をどのように維持・発展させていく考えなのか。

4. 介護する家族を支える取組みを（その3）

- (1)入所・入院している患者への面会は緩和されるのか。
- ①政府は5月8日から新型コロナウイルス感染症を「2類」から「5類」に引き下げる方針を決定した。現在、入院、あるいは入所している患者、高齢者には原則面会禁止となっているが、緩和される動きはあるか。
- ②家族が患者や高齢者と5月を待たずとも会えるよう、近々に医師会、施設関係団体に申し入れるべきではないか。
- (2)いつでも介護について、相談あるいは、話ができる場を増やしてはどうか。
- ①家族介護者交流会の開催回数を増やしてはどうか。
- ②オンラインサロンを設置してはどうか。

1. 奨学金の返還支援について

- (1)奨学金返還支援を実施する自治体への内閣府の

調査で、「自治体内の企業採用活動を有利に進めることができた」という声が寄せられている。市でも若者の負担軽減と定住・転入促進を目的に「羽村市入学資金融資制度」と併せて奨学金の返還支援制度も考えてはどうか。

- (2) 企業による「代理返還」制度は、損金算入でき、法人税の軽減につながり、一定の条件を満たせば税額控除を受けることもできるため、企業側にもメリットがある。市内企業へも推奨してはどうか。

2. 子どもの特性に応じた、自立と社会参加できる学習支援を

- (1) 文部科学省は、全国の公立小・中・高校の児童・生徒から約8万9千人を抽出し、担任教員等が回答する調査を昨年1、2月に実施した。調査結果では、発達障がいの可能性のある小・中学生の割合は、8.8%で約10人に1人と前回より増えている傾向だが、市内の状況は。
- (2) 市内の小・中学校では、発達性読み書き障がい「ディスレクシア」の疑いがある児童・生徒をどの程度把握しているのか。また、早期に発見できるような取組みが必要ではないか。
- (3) 「読み書き能力」は後天的に獲得する文化的なものと言われ、訓練次第で発達していくといわれているが、現在、読み書き能力に課題のある子どもへの教育はどのように行われているのか。
- (4) 多層指導モデル「MIM」の導入について
日本の教育に合わせて開発されたMIMという指導モデルがある。全教科の学力の向上に有効であることがわかっており、何より子どもたちが喜んで取り組み、教師も指導法と教材のセットで指導を行うことができるので負担も少ないとの評価も得ている。
 - ① 市として確実に効果が上げられるような指導法を導入し、子どもたちがつまづく前に手を差し伸べ、学力を保證できるような学習方法を取り入れていくべきではないか。
 - ② デジタル教科書を導入するなど、自立に向けた支援が必要ではないか。

3. 「企業版ふるさと納税」とまちの活性化について

- (1) 市は「企業版ふるさと納税」を進めるにあたり、今後どのような視点で、どう具体化し、いつごろから実行すると考えているのか。
- (2) 「羽村市まち・ひと・しごと創生計画」の取組みについて
 - ① 「ふるさと納税」の返礼品の開拓及び検討を行うとしているが、どう進んでいるのか。
 - ② 若い世代のまちづくりへの参加の機会の検討・

8 人目

14 番

馳 平 耕 三
(60 分)

提供はどう進んでいるのか。
③住宅補助などの定住促進施策の検討状況は。

3 月 1 日

1. 空き家対策を急げ

- (1) 空家等対策特別措置法施行後、羽村市の空き家対策はどう変わったか。
- (2) 羽村市は空き家をどう定義しているか。その定義では、羽村市はいくつぐらいの空き家があるか。
- (3) 専門家と連携し、課題や対応方策を考える協議会の設置が必要と考えるがどうか。
- (4) 第六次羽村市長期総合計画基礎調査報告書によると、職員プロジェクトチームの検討結果の提案 2 「稼げる行政」の中で、空き家対策を求める貴重な提案がなされている。その提案をどう考え、今後の施策として進める考えはないか。

2. コロナ後の夏のイベントの方針を問う

- (1) はむら夏まつりは、令和 5 年度からは、産業祭と同時開催し、産業祭に「はむら夏まつり」の要素をとり入れた「市民まつり（仮称）」に変更されるとのことだが、その理由は。また、内容はどう変わるか。
- (2) 羽村市少年少女球技大会は、市の主催事業ではなくなったが、その理由は。また、関係者や参加していた保護者・子どもたちにもっと丁寧に説明すべきではないか。

3. 物価高・インフレにどう対応する考えか

- (1) 令和 4 年度・令和 5 年度の市内の物価は何%ぐらい上昇すると予想しているか。
- (2) 物価高で最も影響を受ける生活保護受給者や年金受給者をどう支援していく考えか。
- (3) 市長は級地区分の見直しの要望書を、見直しを求める他の市長とともに、総務省・人事院等に提出されたようだがその目的は何か。
- (4) 要望書の内容が市公式サイトに掲載されており、初任給が最低賃金を下回る問題が生じる要因は地域手当制度にあると書かれているが、羽村市の現状はどうなっているか。
- (5) 今春、政府も給与の上昇を勧め、多くの企業も実施する。いくら財政が厳しいとはいえ、国からの仕事が増える中で努力している職員の給与を最低限物価上昇分は引き上げるべきだと考えるが、市長の考えを問う。

4. 羽村駅西口土地区画整理事業は見直しを明言すべき

- (1) 羽村駅西口土地区画整理事業について検証会議による検証結果が示され、羽村駅西口地区の都

9 人目

9 番

富 永 訓 正
(60 分)

市基盤整備に関する基本方針が示された。しかし、市民にも理解しづらいものとなっている。羽村駅西口土地区画整理事業は、今こそ、規模・期間・資金計画など見直しを明言すべきだと考えるが市長の考えを問う。

3 月 1 日

1. 地域コミュニティを支える取組みについて

(1) 地域コミュニティについて

- ① コロナ禍による影響とこれまでの対応を伺う。
- ② 第六次羽村市長期総合計画からの現状の取組みはどのようになっているか。また、今後の具体的な取組みをどのようにしていくか。
- ③ 市民主体の任意団体への支援は、これからの円滑な行政運営にとっても必要不可欠である。これまでにない新たな発想により、さらに充実したサポートに向けて、ともに考えてはどうか。

(2) DX（デジタルトランスフォーメーション）が社会的に進む中、市民へより細かな情報伝達や、デジタル・デバイド解消への幅広い取組みが不可欠である。市の運営に大きな貢献をしている任意団体が行う情報発信や、情報へのアクセスなどの充実に向けたデジタル化の支援への取組みを伺う。

2. 公園、街路等での雑草や樹木管理について

(1) 公園や街路の樹木の高木化について

- ① 伐採や剪定などに向けた、日常の樹木管理はどのように行われているか。
- ② 計画的な管理を行っていく「公園管理システム」の導入についての研究はどのようになっているか。
- ③ 生産緑地等に隣接する「イチョウ」の落葉除去の負担は大きい。対策を検討すべきでは。
- ④ 街路樹による歩道の根上がりで歩行者などの通行に支障をきたす場面が多い。どう対応する考えか。
- ⑤ 街路樹花壇の管理の方向性はどのように考えているか。

(2) 市立公園等の管理運営を行う指定管理者制度について

- ① 改めて市が目指すべき方向性を聞く。
- ② 事業活動の開始時期や、具体的な管理運営内容はどのようになっているか。
- ③ 市道の植樹帯等を管理する指定管理者も必要ではないか。

(3) 公園ボランティアについて

- ① ご協力いただいている登録者数はどのような状況か。
- ② ボランティアの登録がない公園等の状況は。
- ③ 公園ボランティアを含めた各種ボランティア活

10人目

13番

山崎陽一
(60分)

動、健康、防災・防犯・交通安全・環境美化・地域福祉に関する活動など、安全・安心なまちづくりに資する活動の参加者に総合的なポイントを付与する制度を創設し、充実を図ってはどうか。

3月1日

1. 区画整理撤回要求第63弾

- (1) 区画整理検証会議の提言を受けて定めた、市の「羽村駅西口地区の都市基盤整備に関する基本方針」を聞く。
 - ① 区画整理をベースにとは42ヘクタール、1,000棟の取壊し移動の現在の計画を進めるという意味か。
 - ② 提言を尊重し、整備手順や事業費削減の方策を検討、とは現計画の見直しが前提、でいいか。
 - ③ 提言では優先地区を早期実施というが羽村大橋からの都市計画道路3・4・12号線完了時期未定、駅前広場は2031年(令和13年)の完了予定、現在の計画でどのように行うか、具体的に説明を求める。
 - ④ 駅前整備が進まないのは、踏切から駅前までの旧青梅街道に代わる約300メートル、幅15メートルの都市計画道路7・5・1号線の整備が前提となっていること。また、下水道の下流域からという面整備の問題点ではないか。
 - ⑤ 提言にある、移転棟数や事業費の削減はどのようにすれば可能か。
 - ⑥ 区画整理以外の手法には課題がある、という。課題を具体的に聞く。
 - ⑦ 提言の「エリアの特性を考慮し他の整備方法を導入、住民負担や事業費削減を」どう受け止めたか。
 - ⑧ 来年度に「事業の進め方の検討」がありアドバイザー予算が組まれるとのこと。だれが、いつまでに、何を検討し、その際は権利者の意向はどう反映させるのか。
 - ⑨ 現計画を進めながら、見直しを行う矛盾の解消には、事業を中断するのが筋だと思うが、どうか。
- (2) 委託契約は残り1年、2023年度まで。終了後の移転となる補償交渉は控えるべきだ。
 - ① 事業開始2003年度から2022年度まで20年間の、移転家屋の予定数と実数はどうか。
 - ② 2022年度の取壊し移転数と、仮換地先の使用はいつか。2023年度末の委託期間内か。
 - ③ 2023年度の移転補償交渉数、取壊し移転数と、仮換地先の使用はいつか。
 - ④ 委託契約終了後の事業継続は不明だ。この時点での中断移転数と、権利者への対応を聞く。
 - ⑤ 委託契約期間の4年間の委託予算は78億5720

11人目

1番

櫻 沢 康
(60分)

万円。2022年度までの3年間の執行済み額（見込み額含む）と2023年度の執行予定額は。
⑥うち、市費負担予定額と3年間の支出額を聞く。
⑦市長は昨年6月定例会で「仮住まい者の換地先使用が最優先。これ以上広げず、4年の債務負担行為内での事業をする」と、答弁。委託契約終了後の中断移転は、これに反していないか。

3月1日

1. 生活支援について

(1)ひとり親世帯への支援について

- ①養育費に関する相談は寄せられているか。
- ②不払いの養育費を確保するためにどのように支援しているか。
- ③養育費の立て替え支援をどのように行っているか。

(2)ケアリーバーへの自立支援について

- ①相談はあるか。
- ②支援はどのように行われているか。

(3)犯罪被害者救済制度について

- ①相談はあるか。
- ②支援はどのように行われているか。
- ③条例の制定などは考えているか。

(4)小・中学校の給食費について

- ①支払い遅延などはあるか。
- ②全員に対して所得制限なしの無償化を実施するためには、どのくらいの予算が必要か。
- ③無償化について考えているか。

2. 羽村駅西口土地区画整理事業について

(1)羽村駅西口土地区画整理事業についてどのような見直しを行うのか。

- ①資金計画について見直しを行うのか。
- ②個別の事業内容について
 - ア 都市計画道路3・4・12号線について道路幅の見直しは行うのか。
 - イ 駅前整備を優先して整備を行うのか。

(2)羽村駅西口土地区画整理事業アドバイザーについて

- ①どのような方か。
- ②どのような指導を受ける予定か。
- ③就任期間はどのくらいか。

12人目

5番

浜 中 順
(60分)

1. 不登校対策を早急に強化させよう

(1)コロナ禍前の2019年度から2021年度までの小学校と中学校の不登校数の総数はどのように変化しているか。

(2)不登校の児童・生徒のうち、学校適応指導教室、フリースクール、学校の保健室や別室登校、主に家で過ごしている、それぞれの割合は直近で

3月2日

どのようになっているか。

- (3) 学校適応指導教室は、通いやすいように、どのような改善をしてきたか。
- (4) 保健室登校や別室登校している子どもたちへの指導は、どのように行われているのか。
- (5) 保健室登校や別室登校している子どもたちを指導するための場所や教える人材の確保はどのようになっているか。必要なら国や都に他市と連携して働きかけるべきではないのか。
- (6) 主に家で過ごしている子どもとその保護者は、どの程度学校から働きかけや教育相談を受けているか。
- (7) 福生市では不登校のための学校適応支援室の他に、不登校生徒のための新たな学びの場を設けて対策を強化している。また、どちらの教室でも学校給食が利用できる。羽村市でも新たな対策と学校適応指導教室などで給食が利用できるようにすべきではないのか。

2. コミュニティ・スクールをすすめるなら合意と準備を

- (1) コミュニティ・スクールの実施決定は、いつ、どのようにして決定したのか。
- (2) 実施決定までに、どのような話し合いが、何回行われたのか。
- (3) 実施決定までに、関係者からどのような共感や賛同を得られたのか。慎重論はなかったのか。
- (4) この取組みを成功させるために不可欠な、教育を理解する人材確保の展望はどう考えているのか。
- (5) この取組みでの、当面の具体的な獲得目標は何か。
- (6) コミュニティ・スクールによって、現在の授業準備ができないほどの教員の多忙や不登校などの大きな課題に、どのように効果を出そうと考えているのか。

3. 買い物困難者への対策の強化を

- (1) 調査を行い、買い物困難者の実態をどう把握したのか。該当地域住民からの声はどうなっているのか。
- (2) 移動販売車による買い物支援の具体策は、どこまで進み、いつ開始するのか。
- (3) この事業を進める際に課題となっていることは何か。

1. 羽村駅西口区画整理は、今こそ抜本的見直しを

- (1) 整備手順や事業費削減の方策を検討とあるが、検討結果はいつ出されるのか。
- (2) 検証会議からは「不要移転棟数を増やし事業費

13人目

18番

門 間 淑 子
(60分)

3月2日

を削減する方策の検討」が提言された。どのように具体化するのか。

- (3) 都市計画道路 3・4・12 号線の早期整備とあるが、完了時期はいつか。
- (4) 羽村大橋の拡幅工事について、詳細は示されたか。
- (5) 道路幅は 18 メートルで十分ではないか。
- (6) 駅前広場の整備を優先とあるが、どのように進めるのか。
- (7) 検証会議の中でも、住民の意見を聞くことが提言されていた。いつ実施するのか。
- (8) 仮住まいの方が全員戻ることができるのは、いつになるか。
- (9) 42 ヘクタール、436 億円の区画整理事業は、完成時期が見通せない。今こそ抜本的に見直し、必要箇所に限った修復型整備に切り替えるべきではないか。

2. 契約制度の改革をさらに進めよう

(1) 公契約条例の制定について

- ① 羽村市でも、指定管理者制度や民間委託が増えている。市が契約する業務において、適正な雇用が確保されているかの把握は、どのようになされているか。
 - ② 医療、介護、保育などの福祉の分野で非正規雇用が多く、男女間の賃金格差も大きいとのデータがある。市の契約業務では、賃金格差について把握しているか。
 - ③ 公契約条例は、非正規雇用の改善や男女間の賃金格差の解消にもつながると考えるが、どうか。
- (2) 外部の法律事務所に内部通報先を確保し、市が契約した事業に関わる人たちも通報できるようにすべきではないか。
 - (3) 公正・透明な契約事務を進めるため、入札監視委員会を設置してはどうか。

14人目

6番

印 南 修 太
(60分)

1. 次世代へ向けた持続可能なまちづくり

(1) 上下水道事業について

- ① 第2次羽村市水道ビジョンには、令和2年度末時点で法定耐用年数を経過している管路は全体の 26.5%であり、そのうち石綿セメント管（多くが昭和40年以前に布設）が羽村駅西口土地区画整理事業地区内にあるとなっているが、優先的に管種替えはできないか。
- ② 施設整備面では、令和2年度末時点で法定耐用年数を経過している設備は 47.7%で、令和41年度までの使用年数による更新需要は総額で 201 億円と推計されている。今後、資金不足が懸念されるが打開策はあるか。
- ③ 財源試算の検討結果によると、令和6年度に料

3月2日

15人目

10番

鈴木拓也
(60分)

- 金改定が必要とあるがどの程度を考えているか。
- ④今後、将来的な都営水道への変更について、調査研究をすべきではないか。
- ⑤羽村市下水道総合計画では、使用量はピーク時から33%減少しており、汚水処理原価100.8円/m³に対し、使用料は85.2円と原価割れの状態にある。健全経営の為にも使用料の適正化を図るべきではないか。
- ⑥下水道事業にも一部充当される都市計画税は、令和5年度は税負担を軽減する特例措置が設けられているが、今後の見通しは。
- (2)羽村駅西口土地区画整理事業について
- ①第4回検証会議の資料1で地区内の道路率(15.8%)が示されたが、小作駅西口地区の道路率は何%で、そのうち幅員4メートル未満は何%か。
- ②現在整備中の都市計画道路3・4・12号線エリアが完了する頃を目途に、昭島市のように事業エリアを区割りするための換地変更を行い、例えば「まちなみ60号」で示されたA・Gのエリアを道路整備計画に変えるなど、事業期間の縮小を今後検討できないか。

1. これまでの質問をふりかえり、再度問う

- (1)たいへんお金がかかっている市役所で使うコンピューターのソフトウェアを、他自治体等とともに開発・利用・改修する取組みはどう進められたか。
- (2)学校給食費について
- ①学校給食費を無料とする自治体が増えている。実施すべきではないか。
- ②無料化を目指して、まずは一部補助を実施すべきではないか。
- ③来年度は、物価高の中で、給食の質を保つための補助金が必要だと考える。実施すべきではないか。
- (3)江戸街道公園の早期整備、防球ネットの整備、またトイレの改修をすすめるべきではないか。
- (4)「ひきこもり相談窓口、支援センター」を設置し、相談・訪問活動などを行い、関係機関との連携の核となりながら、市民への周知に努めるべきではないか。
- (5)オスプレイのクラッチ異常の増加に伴い、部品の交換を行うことを米軍が発表した。今回の措置を市長はどう考えるか。また、クラッチ異常は、横田基地では起こっているのか。
- (6)水難事故を防止するための学習、着衣水泳訓練はどう充実されているか。
- (7)温暖化防止対策について
- ①公共施設を利用した「涼み処」を開設すべきで

3月2日

16人目

17番

水野義裕
(60分)

はないか。

②全ての学校への太陽光パネルの設置はどう進められているか。

2. 結局、区画整理事業は変わらないのか？

- (1) 区画整理事業の検証に基づく方針が示された。市長は公約を達成したと考えているのか。
- (2) 「羽村駅西口駅前広場の優先的整備」はどう進めるのか。
- (3) 「一部地区への区画整理以外の整備手法の導入検討」はどう進めるのか。
- (4) 提言にある「不要移転棟数を増やし事業費を削減する方策の検討」はどう進めるのか。
- (5) ほとんど変わらないのではないかと、との市民の声がある。どう受け止めているか。
- (6) 今後の事業の進展に、市民・権利者の声をどう反映する考えか。

1. 羽村駅西口土地区画整理事業の今後について

- (1) 事業がこれまで円滑に進められなかった要因は何だと考えているか。
- (2) 今後それらについてどう改善していくか。
- (3) この事業が財政の悪化に拍車をかけているのではないかと、という声があるがどうか。
- (4) 今後の計画について
 - ①都市計画道路3・4・12号線の見直しをすべきと考えるがどうか。
 - ②換地設計は見直しをすべきと考えるがどうか。
 - ③財政計画では、事業の完了時期を見通したものにより、財政健全化判断比率等を明示すべきではないか。

2. コミュニティ・スクールについて

- (1) 学校評議員会について
 - ①市が目指していたものは何だったか、そしてそれは得られたか。
 - ②課題として残されたものは何か。
 - ③教育委員会は各学校の実情を把握していたか。
- (2) 学校支援地域本部について
 - ①市が目指していたものは何だったか、そしてそれは得られたか。
 - ②課題として残されたものは何か。
 - ③教育委員会は各学校の実情を把握していたか。
- (3) コミュニティ・スクールについて
 - ①学校評議員会・学校支援地域本部の課題にはどう対応するのか。
 - ②教育委員会・地域学校協働本部・コミュニティ・スクール委員会の関係はどんなものになるのか。
 - ③必要とされる人材の養成・確保についての考えは。

3月2日

④実施にあたり市民への周知がこれまで以上に必要と考えるがどうか。

3. 内申制度の問題点について

- (1) 教育委員会は内申制度にどう取り組んできたか。また問題点は何だと捉えているか。
- (2) 市民からはどんな声が届いているか。またそれにどう対応してきたか。また、内申書の内容について、生徒や保護者にきちんと説明しているか。
- (3) 今後、問題点にどう対応しようとしているか。